

令和7年度
全国高等学校選抜自転車競技大会
＜テクニカルガイド＞


Ver. 20260308



- 1 主催 (公財) 日本自転車競技連盟
- 2 共催 (公財) 全国高等学校体育連盟 (一社) 群馬県自転車競技連盟
- 3 後援 群馬県 群馬県教育委員会 (公財) 群馬県スポーツ協会 群馬県高等学校体育連盟
前橋市 前橋市教育委員会 前橋市スポーツ協会
(一社) 静岡県自転車競技連盟 (公財) 前橋観光コンベンション協会
- 4 主管 (公財) 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部



この資料は監督会議・役員打合せで使用しますので印刷してご持参ください。

 (公財) 全国高等学校体育連盟 自転車競技専門部

01 会場

(1) 開 会 式 日本トーターグリーンドーム前橋 サブイベントエリア

(2) トラック競技 日本トーターグリーンドーム前橋 TEL：027-231-4508
〒371-0035 群馬県前橋市岩神町1丁目 2-1

(3) ロード競技 日本サイクルスポーツセンター TEL：0558-79-0001
〒5410-2402 静岡県伊豆市大野 1826 番地
(順方向：反時計回り) 男子 5.0km/10 周 女子 5.0km/5 周

(4) 閉 会 式 日本サイクルスポーツセンター ゴロリン広場

02 ライセンスコントロール (受付)

(1) 選手・監督受付

日時：令和8年3月12日(木) 10:00~10:50

場所：日本トーターグリーンドーム前橋 サブイベントエリア総合受付

参加校 男子132校、女子34校

男子選手 トラック303名、ロード148名、男子合計312名

女子選手 トラック46名、ロード32名、女子合計47名

選手合計 359名、監督等合計 245名

競技役員60名、運営役員40名、総人数100名

ア 各学校の監督は上記の時間帯・場所に選手の競技者ライセンス(データ可)を持参し提出すること。

イ 配布されたADカードに学校名と氏名を記入し、会場では常に携帯すること。

ADカードはハガキサイズです。ストラップ及びカードケースは各校で準備してください。

※「無記名の場合、身分証明書の提示を求められることがあります。不正使用は禁止します。」

ウ 選手変更・欠場申請書、引率責任者・監督・チームサポート変更申請書プログラム記載事項訂正申請書、その他提出書類(個人医療情報)は全国高体連自転車専門部HPからダウンロードし、選手受付時に提出すること。また、大会期間中に欠場が生じる場合は、速やかに大会本部(総務委員長)に提出すること。

エ ロード競技のみに出場する学校も、原則として選手受付・監督会議に出席すること。

(2) 配付物

ア ADカード ADは正選手の人数分と、監督・引率責任者・チームサポートを対象に最大2枚を発行する。

※男女のスタッフが重複する場合はどちらか1枚のみ。

上記以外の選手に必要な場合は、AD追加申請を提出し、参加料と同等額を納めた上で発行する。必要数のストラップ及びカードケースは各校で準備してください。

イ プログラム 各校2部

ウ ボディナンバー(ゼッケン)

男子 トラック 黒文字×白地

女子 トラック 赤文字×白地

ロード 黒文字×黄地

ロード 黒文字×ピンク地

エ フレームプレート (ロード)

男子 黒文字×黄プレート



女子 黒文字×ピンク地



トラック男子・女子

ロード男子・女子 (数字の下にはアンダーラインスペース)

オ ロード用計測チップ

配布場所 受付時に配布する。

※レース終了後、直ちに大会本部まで返却のこと。紛失した場合は、実費 (10,000 円程度) を請求する。

03 監督会議

日 時: 令和 8 年 3 月 12 日 (木) 11:00~11:50

場 所: 日本トーターグリーンドーム前橋 サブイベントエリア

その他: 各校 1 名の参加を必須とする。

04 開会式

日 時: 令和 8 年 3 月 13 日 (金) 9:00~9:30

場 所: 日本トーターグリーンドーム前橋 サブイベントエリア

その他: 各校代表者 1 名 (選手) は参加すること。また、高体連表彰の受賞対象者も参加すること。

05 表彰式

(1) トラック競技

日時: 競技日程参照 ※競技毎の表彰

場 所: 日本トーターグリーンドーム前橋 セレモニーエリア

集 合: 各種目終了後、リザルトが確定次第メダルセレモニーを行うので、表彰対象者 (1位~3位) はセレモニーエリア近くに待機しておくこと。1~8 位の選手は大会本部にて賞状を授与する。

服 装: メダルセレモニー対象者賞者は登録されたジャージとする。

式典にふさわしい服装で参加すること。なお待機している間はトレーニングウェア等の着用を認める。(サンダル、サングラスの着用禁止)

(2) ロード競技

日 時: 令和 8 年 3 月 16 日 (月)

場 所: 日本サイクルスポーツセンター

集 合: 男女各レース終了後選手、リザルトが確定次第メダルセレモニーを行うので、表彰対象者 (1位~3位) はセレモニーエリア近くに待機しておくこと。

服 装: 登録されたジャージとする。待機している間はトレーニングウェア等の着用を認める。

(サンダル、サングラスの着用禁止)

06 閉会式

日時：令和8年3月16日（月） 13:30～

場所：日本サイクルスポーツセンター ゴロリン広場

集合：15分前に集合・待機し、式典委員の指示に従うこと。

服装：学校対抗総合優勝校は出場選手全員、2～8位は代表1名が出席すること。

入賞校は登録されたジャージまたは学校統一のウェアとする。その他の参加者は各都道府県又は学校統一のものとする。

07 会場使用について

(1)トラック競技会場

ア 大会期間中は、ADカードの着用を義務づける。立入禁止区域には、絶対に入らないこと。

イ 観覧席裏の廊下を選手控え場所とし、それ以外の場所への立入りは禁止する。

ブロック毎にエリア分けしているが、お互い譲り合って使用すること。自転車、器材、荷物等が、通行の妨げにならないよう、通路を確保すること。

ウ 競輪場内は、室内用のシューズ(体育館シューズ等)を準備し、入口で履き替えること。

エ 競輪場内の電源の使用は厳禁とする。コンプレッサー使用時の蓄電池・ポータブル電源の使用は認めるが、周囲へ配慮すること。

オ 更衣スペースについては、チームピット付近に更衣テントを設置する。

カ 競輪場内に張り出すチーム応援横断幕等は、受付時に案内する。

※バックストレッチ3階のフェンス外側に予定。

キ 自転車保管庫は設置しない。機材は自己責任で管理すること。

令和8年3月12日（木）～15日（日）の開門までの間は、夜間を含め警備を行うが、紛失等の責任は一切負わない。

ク 開門時間は以下の通りとする。

12日（木） 10:00～18:00

13日（金） 8:00～19:00

14日（土） 8:00～19:00

15日（日） 8:00～15:00

ケ 施設保護のため、以下のことを遵守すること。

- ・パーツクリーナーの使用や、不完全なオイルのふき取りによる施設の汚れや損壊を避けるため、整備は施設外で済ませてから搬入すること。
- ・ローラーの使用は指定された場所で行うこと。（オイルの飛び散りや、汗・飲み物による汚れを避けるためチームピットでの使用を禁止する。）
- ・自転車や台車等を施設内に持ち込む際には、泥や砂・油等の汚れを落としてから搬入すること。

(2)ロード競技会場

ア コース試走は当日のみとする。宿舎と競技会場間の移動及びロード練習では、交通規則を遵守し、ヘルメット着用を義務づける。引率責任者、監督は責任を持って指導すること。また、試走中の事故等のトラブルは、当事者同士で解決すること。選手間の接触・落車等による機材の破損についても、レース中の事故と同じ扱いとする。

イ 試走中、レース中に関わらずゴミの投げ捨て等は、指定区間を除き厳禁とする。

- ウ 自転車競技機材の保管場所については、特に指定しないので各校の責任で保管すること。
- エ 機材紛失等のトラブルについて大会本部では責任を負わない。
- オ 開門時間は 7:00～16:00 とする。
- カ レース当日の入場チケットについては、選手・監督は AD カードの提示をもって代える。その他の者は入場券が必要となるので購入すること。

08 駐車場

(1) トラック競技会場

- ア トラック競技会場は搬入、搬出も含め全て第5駐車場とする。駐車証による確認は行いません。
- イ 機材の積み降ろしは駐車場で行うこと。
- ウ 駐車中の事故、盗難等については一切の責任を持たない。
- エ 混雑時は国体道路から駐車場への右折侵入を禁止する。(渋滞緩和のため)

(2) ロード競技会場

日本サイクルスポーツセンター ベロドロームの駐車場を使用すること

09 トラック競技公式練習

(1) 下記の通り。

期日・会場	開始	終了	ブロック
2026/3/12(木) 日本トーター グリーンドーム前橋	12:30	～ 12:55	茨城・栃木・群馬・埼玉
	13:00	～ 13:25	東京・神奈川・千葉・山梨
	13:30	～ 13:55	北海道・東北
	14:00	～ 14:25	東海・北信越
	14:30	～ 14:55	近畿
	15:00	～ 15:25	中国・四国
	15:30	～ 15:55	九州
	16:00	～ 16:25	女子

- (2) 練習の際は、監督またはチームサポートが選手とともに入場すること。
- (3) 入退場については、2センター側搬入スロープのみとする。
※役員の指示に従って速やかに移動し、指示があるまで乗車禁止とする。
- (4) 練習中の接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、すべて自己責任とする。
- (5) 練習中の事故、大会準備等の進捗状況により、公式練習の開始時間が変更となる場合がある。

10 宿泊・昼食弁当・計画輸送

(1) 宿舎での注意事項

- ア 貴重品管理は各校の責任とする。
- イ 宿舎内の備品・器物の破損や紛失がないよう、十分注意すること。
- ウ 宿舎内は、レーザーシューズでの歩行は禁止する。
- エ 宿舎での自転車保管については、宿舎と調整すること。

※宿舎内での自転車整備や、部屋への自転車の持ち込みは禁止する。

(2) 宿泊、弁当については、名鉄観光サービス（株）ブースを設置する。

弁当の空き容器の回収は、14：00 までとする。

ア トラック会場

3月12日（木）～15日（日）10:30～13:00

配布場所：日本トーターグリーンドーム前橋2階 名鉄観光サービス（株）ツアーデスク

イ ロード会場

3月16日（月）10:30～13:00

配布場所：日本サイクルスポーツセンター 大会本部前

(3) 主催者側での計画輸送は行わない。また、宿舎から会場までの所要時間等は、宿泊の案内を参照すること。

11 医療機関

- (1) 事故等により医療機関へ行く場合は、健康保険証（コピー不可）または、被保険者資格の確認ができるものを必ず持参し、関係者が同行すること。
- (2) 怪我等で医務室にて受診した際は、医務室に備えている受診表に記入すること。
- (3) 医療機関を利用する場合は、下記のQRコード、（医療情報ネット（ナビイ））を使用してください。



※宿舎での傷病については、宿泊先にお問い合わせ下さい。受診後は必ず総務委員長まで連絡すること。

12 荷物輸送について

- (1) 荷物を送る場合は、事前に宿舎と調整すること。
- (2) 競技会場（ロード・トラック会場共に）での、荷物の受取り、保管等は一切行わない。
※会場で受取り希望の際は、各自・各校にて時間指定にて荷受けすること。
- (3) 競技終了後の荷送りについても、各自・各校にて対応すること。

1 3 問合せ先

- (1) 選抜大会に関する情報・連絡事項は、全国高体連自転車専門部 HP にて確認すること。
全国高体連自転車競技専門部 公式 X (旧:Twitter) 競技運営・確認事項・大会特別規則に記載。
- (2) 連絡先
大会本部 全国高等学校選抜自転車競技大会実行委員会事務局
宿泊・弁当関係 名鉄観光サービス (トラック・ロード共通) ※宿泊・弁当要項に記載

1 4 AD コントロール

- (1) AD の発行を受けていない者は管理区域内には入れない。
- (2) 大会 AD の種類



競技運営・確認事項・大会特別規則

0 1 競技運営

- (1) 競技規則
(公財) 日本自転車競技連盟競技規則 (最新版) 及び全国選抜大会特別規則に則り競技を実施する。
- (2) 主要競技役員

競技運営委員長 : 中梶 秀則

総務委員長 : 塚崎 邦嗣

コミセール・パネル

トラック : 河田 拓也 (審判長)、炭竈純一、馬場 秀朋、前田佳代乃、坂井田米治、是永 一
ロード : 河田 拓也 (審判長)、炭竈純一、馬場 秀朋、前田佳代乃、芦澤 拓郎、是永 一

0 2 大会特別規則 (及び競技運営確認事項)

- (1) 記録の配信
ア すべてのコミュニケはX (旧 Twitter) にて配信する。
イ リザルトは、大会モバイルサイトに随時アップする。アドレス等詳細はプログラムに掲載する。
- (2) 装備 (ヘルメット、ハンドル、ホイールリム高 2026/1/UCI ルール規則変更の適用について)

ア ヘルメット

- ・選手はJCF公認ヘルメット及びJKA認定 (競輪用) ヘルメット (トラック競技のみ可) を練習時も含め使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。
- ・ストラップが緩んでいる状態での使用は認めない。(装着時にあごとストラップの間隔は指二本程度まで)

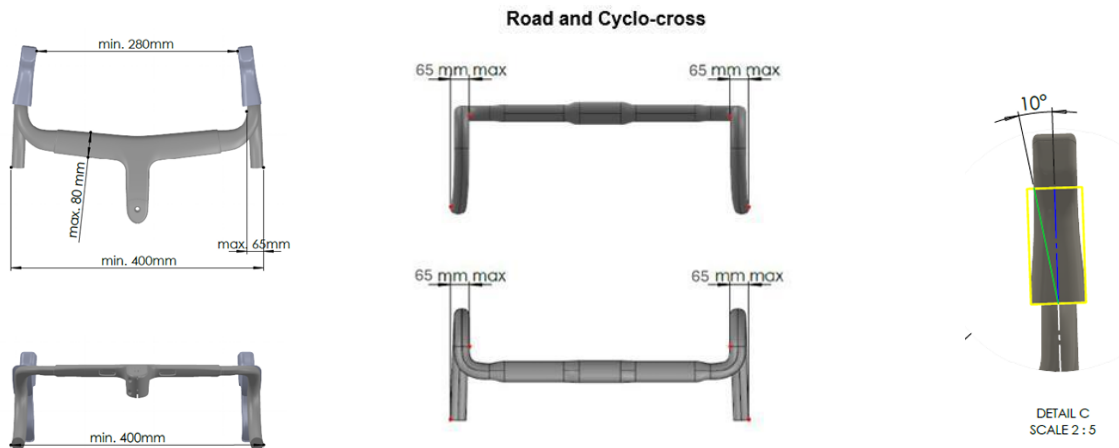
・ロードレースにおいては、2026年1月1日UCIルール規則変更を適用し、従来型ヘルメットをのみ使用を認める。

※参考：JCF-NEWS 2025/12/22

[2026年UCIルール改正に伴うヘルメット規則変更について（注意喚起）](#) | [日本自転車競技連盟 WEB SITE](#)

イ ハンドル

- ・ハンドルバーの外外幅寸法は、最小400mmとする。ブレーキレバー間の内側最小寸法は280mmとする。
- ・ハンドルバーの片側の内外幅寸法は、最大65mmとする。ブレーキレバーの最大傾斜角は10°以内。



ウ ホイールリム高

- ・リムの最大高は65mmを超えてはならない。
(リムの外縁の任意の点を通る接線からリムの内縁までの垂直距離として測定)。
- ・スポークは少なくとも12本以上でなければならず、その断面形状は円形、扁平、または楕円形であってよい。ただし、断面（切り口）のいかなる寸法も10mmを超えてはならない。



(3) ヘルメットカバー

ア トラック・レースのケイリン、ポイント・レース、4km 速度競走で使用するので、ヘルメットカバーを装着することが可能なヘルメットを準備すること。(大会特別規則)

イ 上記種目については、マグネット等で装着するシールドの使用は脱落防止のため禁止する。(大会特別規則)

ウ トラック・レースのヘルメットカバー配付は招集所で行う。回収は招集所付近に回収かごを設置する。

(4) ボディナンバー（ゼッケン）装着方法

ア 男女タイムトライアル、男女インディヴィデュアル・パーシュートについては1枚でもよい。1枚の場合は腰部中央に取り付ける。それ以外の種目については、5cm 程度の間隔を空け、下図のように2枚腰部に付けること。

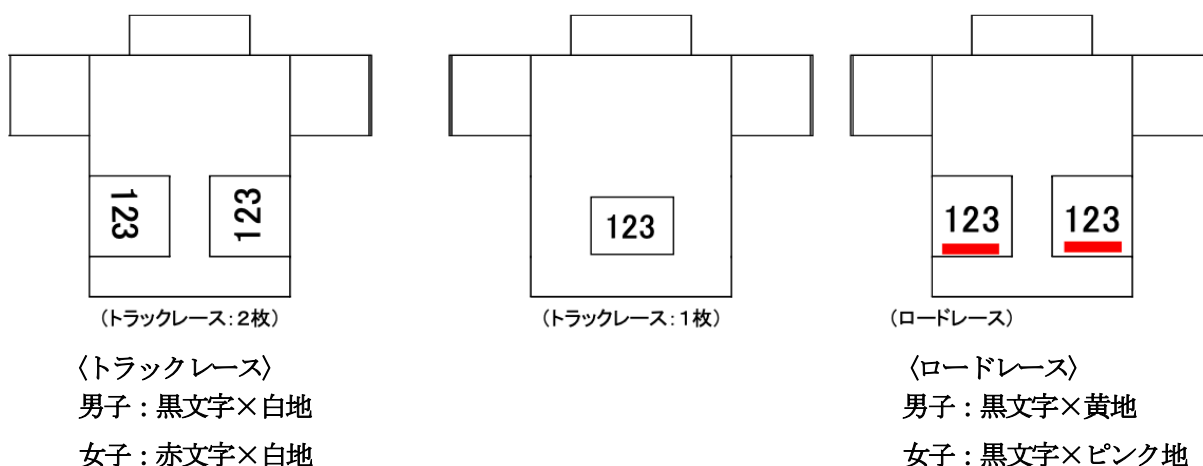
イ スプリント、ケイリンは予選から2枚付けること。

ウ ボディナンバーは折り曲げたり切ったりしてはならない。

エ 透明ポケットにボディナンバーを収納するタイプのユニフォームにおいては、タイム系種目のみ、その使用を認め、競走系種目に出場する場合は、ポケットの外側にゼッケンを取り付けること。

オ ロード・レースでは、フレームプレートを左側から確認できるように装着する。

カ ロードレースでは、11速ホイールを使用する選手は、ボディナンバーに目印をつける。



(5) 映像記録装置

個人情報保護の観点から装着を認めない (大会特別規則)

(6) 靴下とオーバーシューズ

競技中に使用する靴下とオーバーシューズは、踝の中心と腓骨頭中心の間の半分の距離によって定義された高さ以上に及んではならない。

(7) 悪天候時の実施について

- ・選手の安全と健康を最優先とする。
- ・気象条件によりアームウォーマー及びニーウォーマー着用を許可する場合があるが、所属チーム名または製造メーカー名以外の表示がある場合は使用することができないので注意すること。
- ・レインジャケットは、チームのジャージと同色で、下が透けて見えるか、または前面と背面にチームの名称または、ロゴを表示していなければならない。チーム名またはロゴのサイズは高さか幅のいずれかが少なくとも20cm以上とする。ジャージの表示やゼッケンを隠すような衣類を着用してはならない。

03 トラック・レース

(1) 禁止事項

- ア 走路保護のため、チェーンオイルの過度な塗布、アップオイル等を体に塗ること及びレーサーシューズでの走路の歩行を禁止する。
- イ 指定されたエリア以外での選手ピット設営は禁止する。
- ウ 競走種目における競技中のハンドル持ち替えは単独で走行している場合にのみ許容する。(大会特別規則)
- エ 許可されたもの以外、インフィールド内での撮影は禁止する。
- オ 炭酸マグネシウム等の粉の滑り止めを利用する場合、過度な塗布を禁止する。周囲に飛び散らないように配慮すること。
- カ インフィールド内での飲食は禁止する。ただし、キャップのついた500mlのペットボトルの使用は認める。
- キ 使用するタイヤへのシーラントの利用は禁止する。

(2) 走路入退場方法 (選手・監督等)

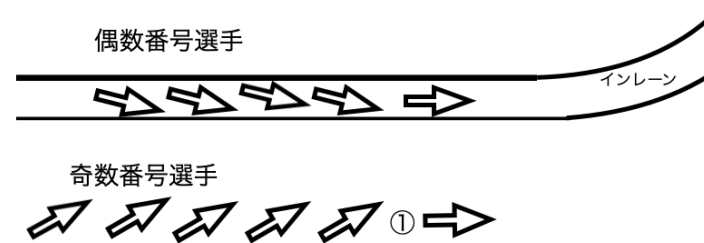
- 2センター側搬入スロープを入退場口とする。

(3) 招集・自転車検査

- ア 招集・自転車検査所は地下1階スロープ前に設置し、出走及び装備の確認、並びに自転車検査を実施する。
- イ 招集及び自転車検査は各自の出走予定時刻の15分前までに完了させること。
- ウ 検車エリアからウオームアップエリアへ出た自転車は、再入場時であっても自転車検査の対象となる。
- エ スプリント 1/2 決勝と順位決定戦については、入退場口搬入スロープ付近でのローラーを用いてのクールダウンを認める。
- オ 競技終了後、指示を受けた競技者は、自転車サイズ及び装備の(靴下長含む)のチェックを受けること。
- カ タイムトライアル用エクステンションバーを使用する選手で、身長が180cm以上の競技者で、UCI競技規則上の各身長カテゴリー一寸法制限の適用を希望する場合は招集検車場で申告すること。(大会特別規則)

(4) スタート方法

- ア スタートに間に合わない場合は、出走することができない。スペアホイールや工具等を必ず準備しておくこと。
- イ 発走機(スターティング・マシーン)使用種目
 - 男女1kmタイムトライアル、男女3kmインディヴィデュアル・パーシュート
- ウ ホルダー
 - 発走機を使わない種目は、4km速度競走を除き各チームのスタッフがホルダーを務める。
 - その際、選手が有利になることを目的として前方へ押し出す行為は禁止する。
- エ ポイント・レース
 - スタート位置は下図を参考にすること。選手は安全地帯(退避路)で乗車し、各チームのホルダーに支えられた状態で発走員の指示により先着順でスタート位置につく。ヘルメットカバー番号奇数の選手がアウトレーン、偶数の選手がインレーンとし、ヘルメットカバーが1番の選手は、アウトレーンの先頭からスタートする。1周回の競技外周回の後、ピストルの合図で正式スタートとする。



オ 200mタイムトライアル

4コーナー安全地帯より発走し、2周回の最後の200mで計測する。(大会特別規則)

(5) タイムトライアル

欠場者及び機材トラブルなどの理由から同じ組の選手が出走できない場合は、単独発走となる。ただし、同様の選手が複数いる場合は出走番組が変更となる場合もある。

(6) インディヴィデュアル・パーシュート

- ア 予選の上位1・2位で1-2位決定戦、3・4位で3-4位決定戦を行う。また、予選のタイムにより5位以下を決定する。(大会特別規則)
- イ 予選では追い付きが発生してもタイム測定のために完走すること。(大会特別規則)

(7) ケイリン

ア ペーサはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は 30km/h、残り 2 周半のパーシュートラインを過ぎてトラックを離れるまでに、徐々に 50km/h まで加速する。

女子のそれぞれの速度は 25km/h と 45km/h とする。(大会特別規則)

イ 選手はペーサがトラックを離れる時まで、ペーサの直後についていなければならない。

ウ ペーサ離脱後は最終スプリント状態とみなすので、各自の走行ラインを厳守すること。(大会特別規則)

(8) ポイント・レース

【男子】 予選 12km (スプリント 7 回) (大会特別規則)、決勝 20km (スプリント 12 回) で実施する。

【女子】 決勝 12km (スプリント 7 回) で実施する。(大会特別規則)

(9) 勝ち上がり方法

ア スプリント

【男子】 予選タイム上位 16 名を勝ち上がりとして選出する。競技順は 1/8 決勝、1/4 決勝、1/2 決勝 (以後 5-8 位決定戦以外は 2 回戦制)、各順位決定戦とする。(大会特別規則)

【女子】 予選タイム上位 8 名を勝ち上がりとして選出する。上位 4 名は 1/2 決勝へ、5 位から 8 位は 5-8 位決定戦に選出する。競技順は 1/2 決勝 (以後 5-8 位決定戦以外は 2 回戦制)、各順位決定戦とする。(大会特別規則)

イ ポイント・レース

【男子】 各組予選 (組数 4) より上位 6 名を選出し、決勝 (24 名) を実施する。(大会特別規則)

【女子】 決勝 (10 名) のみを実施する。

ウ ケイリン

組数・人数、勝ち上がり方法は以下の通りとする。

【男子】 ケイリン予選として 200m タイムトライアルを実施して、1 回戦選出者を決定する。

同タイムの場合の順位決定はスプリント予選の競技規則と同様とする。(大会特別規則)

○ 1 回戦 (42 名) : 6 組 (7 名) 上位 1 名は 1/2 決勝へ

○ 1 回戦敗者復活戦 (36 名) : 6 組 (6 名) 上位 1 名は 1/2 決勝へ

○ 1/2 決勝 (12 名) : 2 組 (6 名) 上位 1-3 位は 1-6 位決定戦、4-6 位は 7-12 位決定戦へ
1-6 位決定戦 (6 名)、7-12 位決定戦 (6 名)

【女子】 1 回戦 (20 名) : 4 組 (5 名) 上位 3 名は 1/2 決勝へ ※敗者復活戦なし

1/2 決勝 (12 名) : 2 組 (6 名) 上位 3 名は 1-6 位決定戦へ、4-6 位は 7-12 位決定戦へ
1-6 位決定戦 (6 名)、7-12 位決定戦 (6 名)

エ 4km 速度競走

【男子】 予選 (68 名) : 8 組 (各 8~9 名) 各組上位 3 名は準決勝へ

準決勝 (24 名) : 2 組 (各 12 名) 各組上位 6 名は決勝へ

決勝 (12 名)

(10) フィールド内での指示

ア インディヴィデュアル・パーシュートについてはスタートライン付近に 1 名のみ認める。

イ ポイントレースのみバック側インフィールドの指定場所に 1 名のみ認める。

(11) ポイント・レース中のスペアホイール・バイク待機所

ア 走路内中央付近エリアとする。

(12) スタンディングスタート種目の再スタートについて

ア 認められない事故の場合を含み、1回に限り再スタートを認める。(大会特別規則)

イ 4km速度競走については競技規則通りとする。

(13) フィールド内への入場について

ア 選手1名につき2名のサポート要員を認める。

(14) ラバーパッドの設置位置

ア タイムレースにおけるラバーパッドは白線とブルーバンドの境界から20cm内側に設置する。

(大会特別規則) その他の競技は白線の内側からブルーバンドとする。

04 ロード・レース

(1) 競技者は標準的な乗車姿勢を遵守しなければならない。前腕をハンドルバーの上に置いて支点とする行為は禁止とする。(2026/1/1 UCI ルール規則変更の適用)

(2) 計測チップの配布及び予備登録選手への変更

3月15日(日)トラック招集・検車所で配布・及び予備登録選手への変更受付

3月16日(月)ロード招集・検車所で配布・及び予備登録選手への変更受付

(3) スタート・シート(サインシート)、自転車検査、計測チップ動作確認

ア 日時: 3月16日(月) 女子(9:00) 男子(10:30)

コース試走時間 8:00~8:40

チップ配布/欠場申請 7:30~8:30

スタート・シート/自転車検査/計測チップ動作確認 女子(8:15~8:45) 男子(9:15~10:15)

イ 場所: 大会本部前(変更の際は改めて案内する)

ウ 要領: 各レースのスタート15分前までに出走する本人がスタート・シートにサインを行うこと。レース前に自転車の検車、計測チップの動作確認を行う。装備の不備・自転車のサイズ違反等はレース終了後であってもペナルティの対象となるので各自の責任でレースに臨むこと。

(4) ギア比

U17カテゴリーに該当する選手のギア比の推奨値は適用しない。

(5) スタート時刻

【女子】 9:00 【男子】 10:30

選手はスタート15分前にはスタート位置に集合すること

(6) スタート位置

前年度選抜大会及び全国高校総体のロード・レース入賞者、及び主催者推薦選手をシードして最前列に位置する。その後方に開催地競技者が位置する。その他の競技者は抽選順に位置する。

(7) 距離及びスタート方式

スタートは号砲によるパレード方式とし、最初の下り坂を終えて1号橋通過後に正式スタートする。(予定)。コースはいずれもコースマップ通りの順方向とする。

【女子】 5.0km×5周=25.0km

【男子】 5.0km×10周=50.0km

(8) 補給所

- ア 飲食物の補給は男女とも認めない。
- イ ゴミの投棄は禁止する。
- ウ チームからの機材補給については、ニュートラルエリアを設定する（機材のみ）。

(9) タイムアウト

- ア 関門所：フィニッシュ地点後に設置する。
- イ 方法：8位を含む集団より原則として男子5分以内、女子は5分以内にスタート／フィニッシュ地点を通過できない場合は競技から除外する。ただし、レースの状況により、相当時間の遅れが見込まれる選手も同様とする。失格となった競技者は、ボディナンバー1枚と計測チップを外し、関門審判員に渡す。

(10) 機材サポートとインフォメーション

- ア ニュートラルカー、ニュートラルバイク、ブラックボード（BB）バイクを主催者で準備する。台数については監督会議で連絡する。
- イ ディスクブレーキ対応のホイールの規格は次の通りとする。
フラットマウント方式、 12m スルーアクスル、 リアエンド幅 142mm
ローター径 フロント 160mm、リア 140mm
- ウ 提供を受けた機材は、招集・自転車検査所へフィニッシュ後直ちに返却し、各自の車輪と交換すること。

(11) 計測チップの返却

- ア 日時：3月16日（月）レース終了後
- イ 場所：大会本部
- ウ その他：計測チップを紛失・破損した場合は実費を請求する。

(12) 選手控場所及び駐車場について

- ア 選手団の車両は、ペドローム駐車場をご利用ください。
- イ 各校1台のみ（乗用車またはワゴン車）を、コース上の駐車エリアに乗り入れを許可する。
駐車証は受付時に配布します。

駐車場ののご案内



(6) 第5駐車場をご利用ください。(7) 第1駐車場は競輪場外発売のお客様のために使用します。



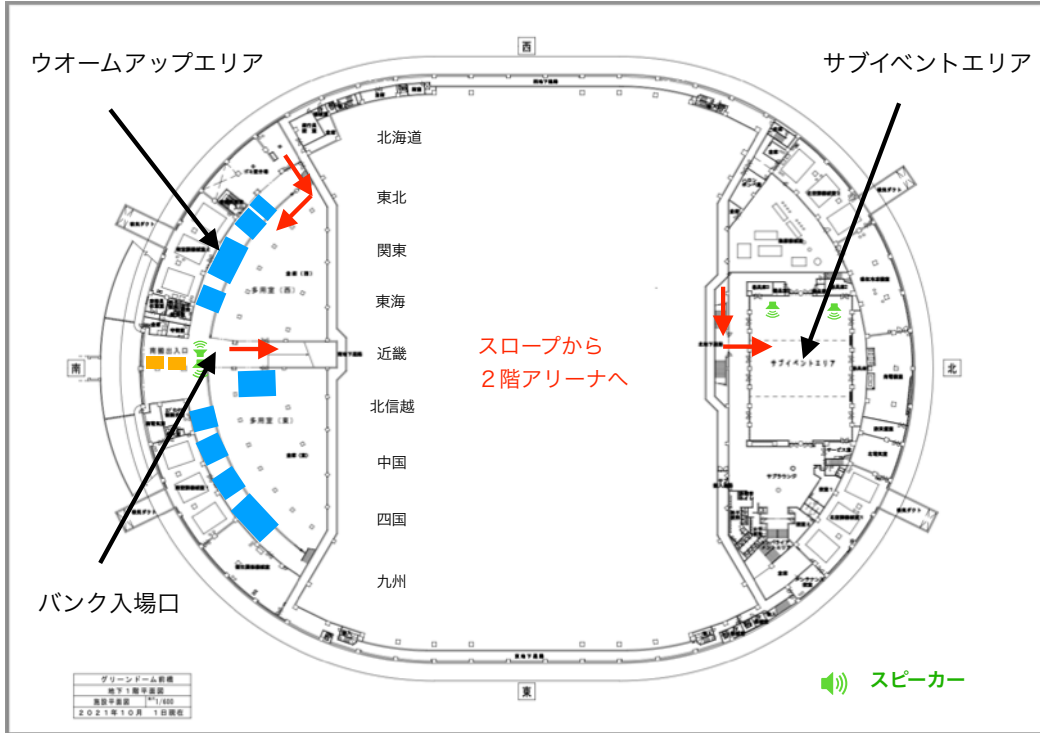
選手監督・応援者・保護者用第5駐車場（※一部競輪観客用）混雑時は利根川河川敷道路からの右折侵入禁止

➡ 選手・監督入場口・応援者・保護者入場口(2階)

➡ 競輪場外観客(2階)

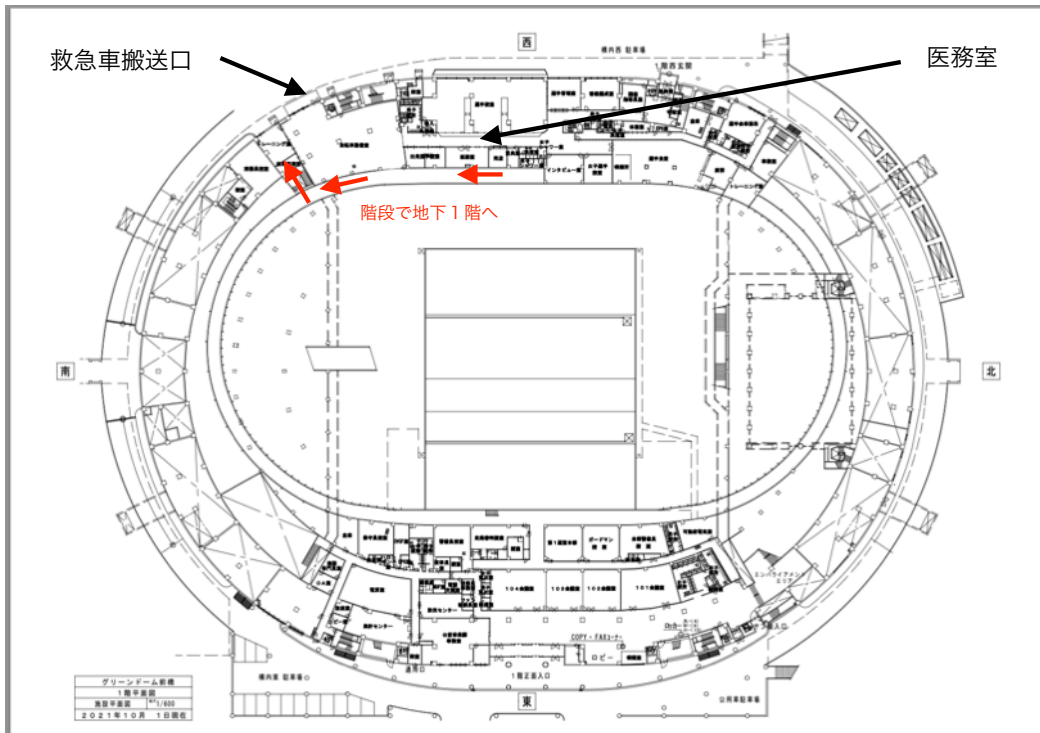
地下1階

多用室（ウォームアップエリア） 搬入スロープ（バンク入退場口） サブイベントエリア



1階

救護室・検車場（救急車搬送口）



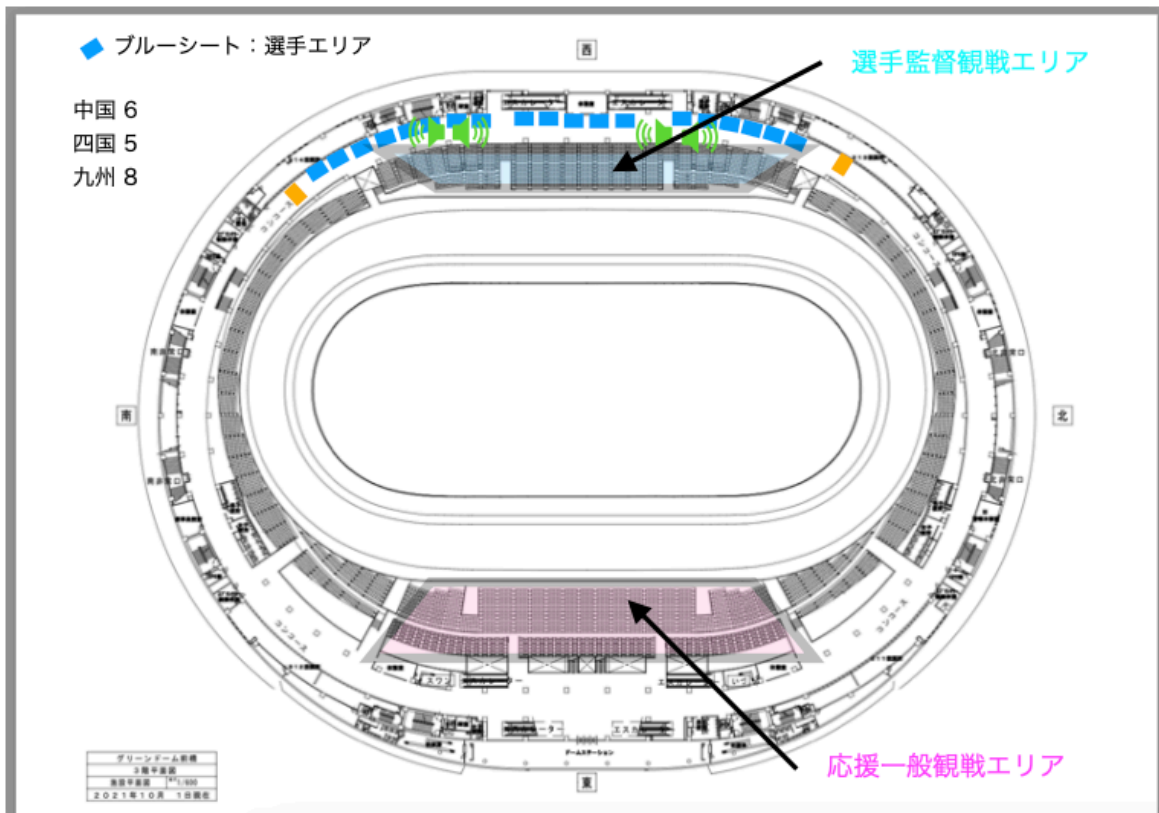
2階

入退場口 選手エリア・観戦エリア・アリーナ・搬入スロープ



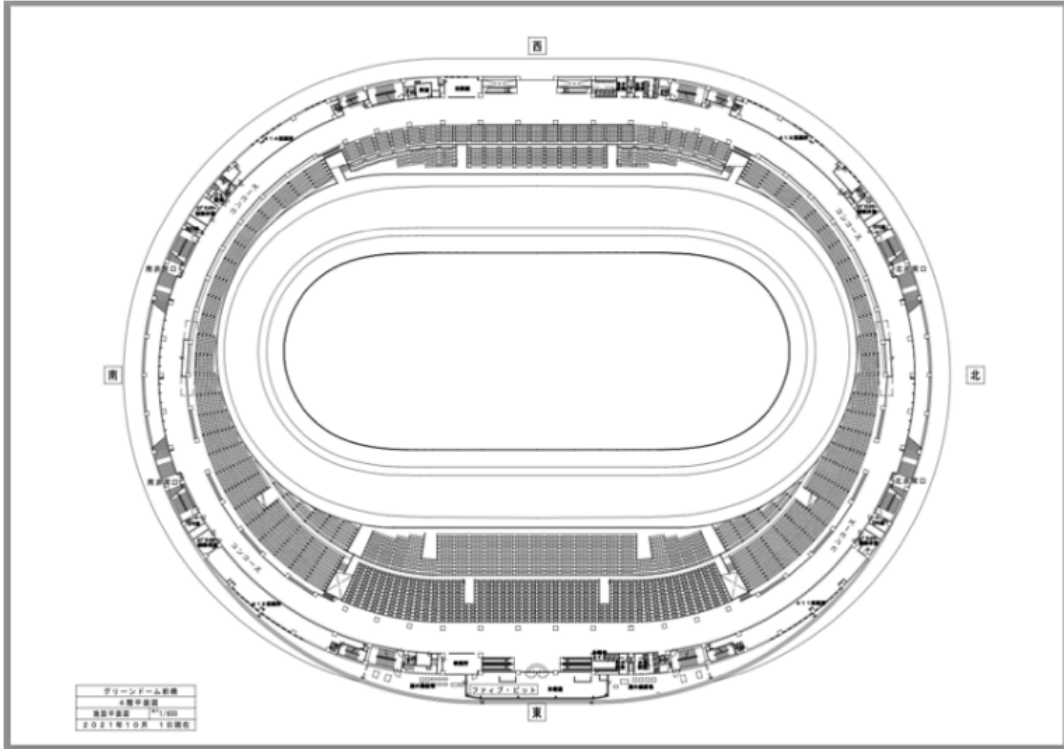
3階

選手エリア・観戦エリア



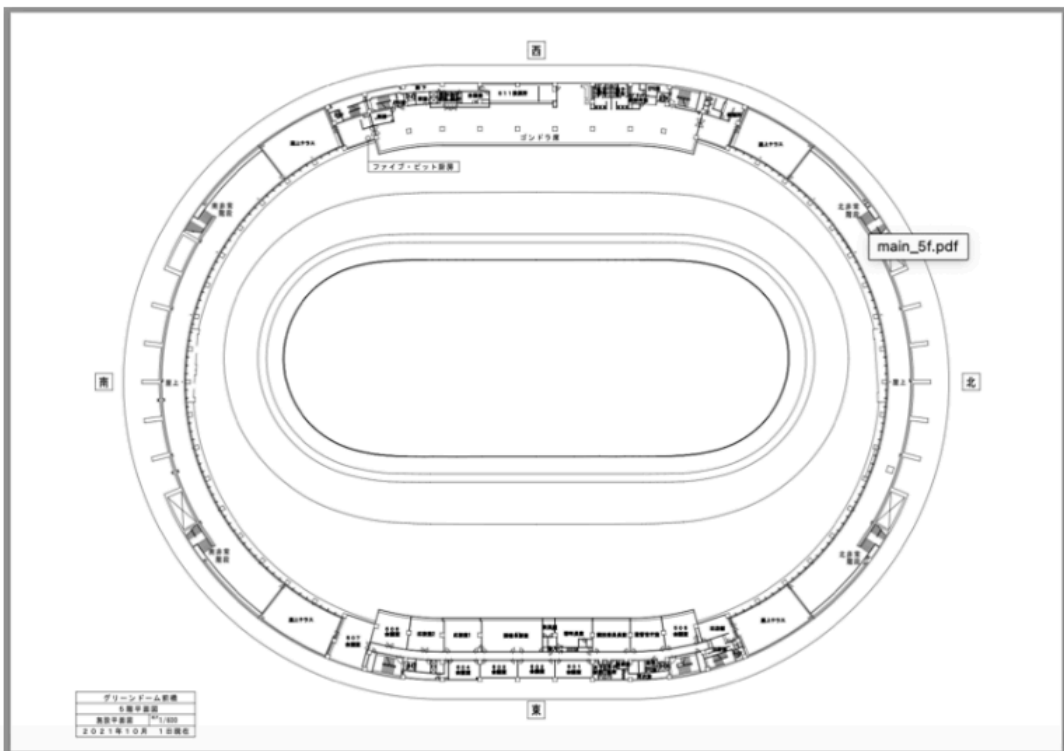
4階

使用禁止



5階

使用禁止



6階

使用禁止

